

令和5年度 教育活動アンケート結果と考察

ここでは、令和4年度との数値の比較をもとに行っています。昨年度の6年生が卒業し、今年度の1年生が入学したことで単純に比較できるものではありませんが、ひとつの目安として考察しました。

※文中のポイントとは、表・グラフで使用した割合の数値です。

1 児童アンケートから

① 学校のめあて、目標を知っているか。

- ・「そう思う」という児童が5ポイント上がっています。「思いやりがあり感動する心をもつ子」「自ら学びねばり強く取り組む子」「心身ともにたくましく元気に活動する子」を実現すべく、全校集会などでの校長からの説明をはじめ、クラス掲示なども刷新し学校教育目標の浸透に努めています。

② 進んで学習に取り組んでいるか。

- ・上級生になるほど、「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」という児童の割合が増えていく傾向があります。学習内容の質と量の違いから学習への自信が持てなくなるのかもしれない。教師の授業改善を進め、児童が「たのしい」「うれしい」と喜びを得られる学習時間を少しでも増やすことと、家庭における学習習慣の確立を両輪として進めていくことが必要だと考えます。

③ 授業はわかりやすいか。

- ・肯定的回答が2ポイントほど上がっているものの、②と同様の傾向で、高学年ほど「そう思う」割合が低下しています。「わかる」「できる」学習が求められます。教師による授業改善をすすめるため研修の時間を充実させてまいります。

④ 家庭での学習習慣はあるか。

- ・「そう思う」児童の割合が4ポイント減り、「そう思わない」という児童の割合が3ポイント増えました。家庭学習の大きな目標は、単に「宿題を行う」ということではなく、家庭における学習習慣を身に付けることです。学校からの課題を生かしながら学習習慣を早期に身に付けられるよう、手立てを考えていきます。

⑤ 友達を大切にしているか。

- ・全学年、肯定的回答の割合が高くなっています。高学年になると、その中でも「そう思う」から「どちらかというと思う」へ若干移動しています。高学年は、思春期の入り友人関係を見つめなおすことが増える時期です。児童が良好な人間関係を築けるよう、担任はもちろん、全職員の教育相談体制でしっかりと寄り添い、支援に努めてまいります。

⑥ 自分や他人の命を大切にしているか。

- ・全学年、肯定的回答の割合が高くなっています。児童には、命の大切さを実感させることはなかなか

か難しいことですが、素直に受け止める純粋さをもっているもの事実です。道徳教育を中心に命に関する指導をしっかりと取り組んでまいります。

⑦ 健康に気を付けて生活をしているか。

- ・「どちらかというと思わない」児童が若干目立ちました。けがをしたり、感染症に罹ったりしたことが影響したかもしれません。けがや病気の予防に関する学習は高学年の保健学習となりますが、日常的な安全指導や健康指導は全校で行っております。落ち着いた生活。衛生的な生活習慣の確立が進むよう指導を継続してまいります。

⑧ 先生はあなたの良さを、がんばりを認めているか。

- ・肯定的回答の割合が増えました。教師が担当する児童全員に目を配り、全員が満足いく支援、励ましをすることは決して簡単なことではありませんが、そのことに挑戦していく教師集団でありたいと考えます。

⑨ 先生方のいじめの対応はよいか。

- ・「どちらかというと思わない」「そう思わない」児童が若干目立ちましたが、肯定的回答の割合が増えました。「いじめはいじめた側が100%悪い」ことを基本とし、それぞれの児童に寄り添った対応ができるように努めます。生徒指導情報の交換は、毎月の報告と会議で行っており組織で対応するように努めております。

⑩ 先生はよく相談にのってくれるか。

- ・肯定的回答の割合が増えました。ただし「そう思う」児童の割合が上級生になるほど減っています。教育相談の機会があっても本音で話すことの難しさが表れていると思われます。普段からの教師と児童との人間関係づくりが重要となります。

⑪ 事故にあわないように生活しているか。

- ・幸いにも大きな交通事故の報告は本年度もありませんでした。ご家庭での安全指導がしっかりと浸透していることが大きいのではないのでしょうか。また、交通安全のための旗振りボランティアの方々のお陰もとても大きいと思います。皆様に感謝です。

⑫ 学校の施設設備は整っているか。

- ・高学年に不満がある回答が目立ちました。昨年度途中からブランコも使えなかったこと。校舎のいたるところで雨漏りがあること、児童や職員だけでは手が届かない清掃箇所があることなど、不便や改善点はあるかもしれません。児童が安心して生活し、母校として誇りのもてる校舎、環境となるよう教育委員会へも要望を出しながら鋭意進めてまいります。

⑬ 保護者や地域との活動や行動はよいか。

- ・昨年度との差はありませんでした。保護者や地域の方には、ボランティアとして読み聞かせや学習支援、花植えや環境整備などで支援をいただいております。児童には、その活動が見えていないところが多いと思います。皆様の貢献を児童にしっかりと伝えることで感謝の心の育成につなげていきます。

2 保護者アンケートから

① 学校の教育方針や教育目標を知っているか。

- ・肯定的回答が減りました。ホームページや学校だより等、伝える機会を工夫し周知を促進します。

② お子さまは意欲的に学習に取り組んでいるか。

- ・「わからない」「どちらかというと思わない」の割合が6ポイント増えました。
児童の学習に対する姿勢が「一生懸命にやっている」「集中している」「やり気を感じる」などと家庭でも感じていただけるように仕組んでいきたいと考えます。

③ お子様は授業がわかりやすいと言っているか。

- ・昨年度との変化はほとんどありませんでした。否定的回答や「わからない」という回答を改善出来ないことが課題です。

④ お子様は家庭で学習に取り組んでいるか。

- ・「そう思う」が減り、「そう思わない」が増えました。児童アンケートの結果とも同様な傾向となっています。家庭学習の充実への手立てを考える必要があります。

⑤ お子様は友達を大切にしているか。

- ・「どちらかというと思おう」から「そう思う」とへ移行しました。友人を大切にすることのできる児童の育成のために、学校職員と保護者様とで協力していけるよう努めていきたいと考えます。

⑥ 学校は人間性・心を育む教育に努めているか。

- ・「どちらかというと思わない」が減り、「どちらかというと思おう」が増えました。心を育てることは、一番に大切であるとともに一番難しい課題であると考えます。美しい心が美しい心を育てることを全職員が肝に銘じ、「心をこめた教育」を実践できるよう精進して参ります。

⑦ お子様は健康に気を付けて生活しているか。

- ・「そう思う」が減り、「どちらかというと思わない」が増えました。けがや病気の予防のためには、落ち着いた生活態度や気候や体調に合わせた服装、適度な運動と食事、清潔な環境や感染症対策など気を付けるべきことがたくさんあります。児童自身が管理することが難しい分、学校と家庭の両方で継続的に指導していきたく考えます。

⑧ 学校は一人一人を大切にした指導ができているか。

- ・「そう思う」「どちらかというと思わない」が減り「どちらかというと思おう」が増えました。生徒指導も学習指導も、その基本は児童を理解することからはじまります。教職員が心にゆとりをもって愛情をもって一人一人に力を注ぐことができる環境づくりが学校としての課題と捉えます。また、児童理解をすすめるため、教育効果を高めるために保護者様の協力は欠かせません。連携をしっかりと取りながら、大切なお子様一人一人に寄り添った指導ができるよう努めてまいります。

⑨ 学校のいじめ対応はよいか。

- ・「わからない」が少し増えました。学校でのいじめの実態がよく分からないことがあると思います。いじめは、いつでも誰にでも起こりうるものです。いじめの予防を第一に、いじめの早期発見、早期対応、保護者との連携に努めてまいります。

⑩ 職員の相談事への対応はよいか。

- ・「どちらかというと思う」が増えました。学校では「すべては子どもたちのために」を合言葉に校務にあたっております。児童へも保護者様にも誠実に対応させていただきます。力不足で至らないこともあるとは存じますが、その際にはお知らせいただきますようお願いいたします。

⑪ 学校の安全教育の取組はよいか。

- ・「そう思う」が少し減り、「わからないが」少し増えました。避難訓練をはじめ、防犯訓練、交通安全指導と実施しております。改善点等お気づきがあれば教えていただき保護者様や地域の方々と協力して取り組んでいきます。

⑫ 学校の施設・整備はよいか。

- ・否定的な意見が増えました。具体的なご意見があれば必要に応じて教育委員会とも連携し対応してまいります。

⑬ 学校は市や地域の環境・施設・人材を生かしているか。

- ・「そう思う」回答が減りました。保護者や地域の方には、ボランティアとして図書を読み聞かせや家庭科における学習支援、花植えや環境整備などご支援をいただいております。また、交通指導の旗振りボランティアの方にもお世話になっております。また、ゲストティーチャーとして、書き初め練習会や箏の邦楽体験、パラスポーツ選手やプロスポーツ選手による授業を開催することができました。これからも様々な面で保護者様や地域の方々からお力をお借りし、教育活動を充実させてまいります。

3 保護者アンケート自由記述から

本文は原文のまま掲載します。分類は便宜的に振り分けました。内容が多岐にわたっているものがありますがご了承ください。●は、学校からのコメントです。

(行事)

- ・行事全体を以前のような形に戻してもいいように思う。運動会は土曜日の方が都合もつきやすい。子ども達も給食など以前のようにグループで食べたり楽しみを感じられるようにしてほしい。
- ・2分の1成人式を、やってほしい。数年前まで、やって頂いていた。バザーが、コロナで中止になったまま再開はいつするのか？子供県展で、力を入れない担任だと今後不良。受賞できない学年がはっきり分かれている。
- ・いつもお世話になっています。年に1回でもいいので、土曜日に運動会や授業参観等の行事があるとありがたいです。よろしく願いいたします。
- ・行事はなくてもいい
- ・保護者会は必要だともおもいますが、子どもだけ家に留守番させて親だけ参加というのは改善して欲しい。一年生は図書室で待っていてよいと言うが2年生や3年生は家で待たせる前提は変えたほうが良いと思います。あと、保護者の中には年度始めの自己紹介が嫌だから行かないと言う方が多くてびっくりしました。オンラインでやる方式に戻すのはどうでしょうか？参加人数が多い方法をご検討下さい。

●保護者会の持ち方については、よりよい方法の検討を継続していく必要があると考えます。

(運動会)

- ・運動会などの行事をもっと前のように戻してほしい
- ・運動会の土曜日開催、マラソン大会の開催希望します。
- ・運動会やイベントに対して子供がもう少し気持ちで盛り上げられるような持っていきかたをして欲しい。
- ・実施曜日希望 土曜日実施希望 … 47.7%
平日実施希望 … 22.8%
どちらでもよい … 29.4%

●令和6年度の運動会は、より多くの方々にご参加いただけるよう、希望が多い土曜日開催とします。

(マラソン活動)

- ・マラソン納会、子どものよい目標になったようで、昨年より熱心に取り組んでいました。ありがとうございました。
- ・マラソンは納会ではなく、以前のように大会に戻してほしい。このような形になった理由が明確にされていない。
- ・マラソンは、記録会ではなくマラソン大会にしてほしいです。男女は分けて行う方が見応えがある気がします。来年度からの午前中に5時間目までという事ですか、読書時間や行間休みを削ってまでする事なののでしょうか？行間休みはお友達と外遊びにも行ける楽しみな時間と子どもは言っています。それがなくなってずっと授業を受ける方が集中力が持たない気がします。朝食も朝はあまり食べない子なの

で、12時半~だとお腹も空くと思います。下の子が4月から幼稚園へ通うのですが14時半にお迎えなので時間が被ってしまい困ります。どうか変更せずに今まで通りで、お願いしたいです。遠足の写真購入ができるようにしてほしいです。よろしく願いいたします。

- ・マラソン記録会(運動会)では、男女別に競い順位を決めて欲しい。
- ・コロナ前に行っていたマラソン大会の復活と、冬場の体操服の中に長袖着用を許可して欲しい。冬は汗もあまりかかないし、かいた時には着替えられるようにすれば問題ない。半袖でいる方が風邪をひくと思います。

●マラソン行事については、体育科学習の内容として実施しております。児童のモチベーションを高められるよう工夫はしますが、持久走の走力を競う大会としてではなく、各自がめあてに向かい記録を向上させ達成感を得られる機会とすることを主にねらいます。

順位をつく納会の実施方法については、次年度検討してまいります。

(指導関係)

- ・いには野小学校は、お子さん・先生方・保護者の方々の雰囲気がとても温かく、教育熱心な方が多いと感じています。校長先生の日々の取り組み(登校時の生徒へのお声かけ、毎日全クラスの写真紹介、毎月の暗唱の宿題、校舎の美化など)に心から感動し、感謝しております。暗唱は、娘にとってとてもやりがいのある宿題のようで、私も一緒にお風呂で練習していますが、娘の記憶力の向上に日々驚かされています。これから娘がどんなことを学んでくるのかなど、いつも楽しみにしております。
- ・先生や友達の話をよくしてくれています。学校生活を楽しく過ごせているのも、先生方のおかげです。ありがとうございます。
- ・担任の先生はきちんと子どもたちと向き合ってくれていると思います。
- ・以前、算数は苦手な人を分けて対応してくれていたが、先生不足により実施されなくなった。担任の先生にこだわらず講師等を活用し、子どもの凸凹に対応してもらえることが増えるとありがたいです
- ・ひとクラスの人数が多いので先生一人で全員みきれているのか少し心配
- ・宿題が多く子供負担のなっているように感じます。我が子の場合、宿題により勉強嫌いになるのでは? と思ってしまいます。
- ・先生、クラスによってクロームブックの活用に差があり過ぎます。タイピングの力をつけても、進級したら触れる機会が減ってしまうというのはもったいないです。リモート授業も全クラス対応出来るようにしてほしいです。
- ・読書の時間を作って貰いたい。
- ・担任の先生により、学習の習慣付けに対する姿勢や宿題の量、子供への指導熱意が違いすぎるのが残念
- ・公平な観点から児童に接して頂きたいとおもいます。
- ・先生の発言が話すたび変わるので子供が困惑しています。発言を統一してほしいです。作るものが選択できるときは子供に選択させてほしいです。
- ・最近のいには野小には好感がもてません。
- ・(アンケートの)上記の回答の先生方には、現在の校長先生と教頭は含める事ができません。今までの校長先生と教頭先生は、保護者の話をしっかり聞いてくれていましたし、学校の教育活動に変更があった場合はしっかりと説明をされてきました。令和5年度の現校長先生と教頭先生になってからは、コロナが5類扱いになっても運動会が平日に開催されたり、毎年クラス替えをする事になったりと、いきなり決定事項として知らされるようになりました。また、今までの校長先生は、子供達の名前を覚え

て下さり登校時には、頻繁に子供達に挨拶をして下さっていました。現校長先生と教頭先生になってから、いにはの小学校の良い部分がなくなってきてしまったと感じます。

・普段の状況がもっと把握出来れば良いなと思います。

●**学習指導における個別対応については、限られた人員のなか、十分に行えていないのが現状です。**

少しでも人的環境が配慮されるよう、学校現場からの要望を行政には継続して発信していきます。

●**管理職をはじめ、教職員の至らなさへのご指摘が多数ありました。真摯に受け止めこれからの改善に努めてまいります。**

●**運動会の平日開催、毎年クラス替えをする事につきましては、令和4年度中に決定し保護者の皆様にお知らせしましたが、お知らせの仕方が不十分だったことをお詫びいたします。**

(教育課程)

- ・教育課程についての配信を拝見しましたが、はっきり言って反対です。働いてるので、下校時間が早くなることで留守番が長くなる、短縮4時間の場合は給食なしのようなので自宅で昼食になり、より留守番が長くなり心配、午前中に5時間授業というのも集中力が持つのでしょうか。決定する前に保護者の意見は聞いていただけたのでしょうか？
- ・教育課程について午前中5時間授業は子供達にとって長いし集中力が続くとは思わない。休み時間や他の活動の調整を検討中との事ですが、調整したところで特にメリットを感じられないので来年度からも今まで通りの日程を希望します。
- ・午前中に五時間授業は子供たちの負担が大きいです。
- ・とても楽しく、一生懸命に学校生活を送れているようで嬉しく思っています。しかし、以前行われた学区編成変更と来年度実施される時間割変更には異議があります。今後、原小学校からの児童受け入れとともに実施される手厚い対応とは逆に、地域の児童に対する対応には違和感を感じます。国は共働きをさせようとし、実際に働かなければ子育てできませんが、母親が十分に働ける環境とはいえず、子供の健やかな成長よりも教員の働き方改革が優先されているように感じてしまいます。
- ・教育課程の変更があるかもしれない事を子供達にも決まる前に説明してほしいです。朝のドリル時間が削られていますが、その分の宿題が増えるような事のないように、授業の中で定着できるようにお願いします。宿題が増えると30分早く下校する意味が薄れると思うので
- ・来年度からの午前5時間制に児童が適応していけるのか不安です。12時半まで授業があるということは、実際に給食を食べるのは13時頃になる、業間のリフレッシュ時間がなくなる等集中力がもつのでしょうか。
- ・来年度からの午前中5時間の時間割りについて延期もしくは廃止を希望します。事前に何の説明もなく、保護者からの意見を聞く機会も持たずに進めるやり方には疑問を感じます。今回の時間割りの変更は、いには野小の子ども達のため以外の、何か目的があるのでしょうか。時間割りの変更自体に反対している訳ではありませんが、子ども達の為になるという明確な理由の説明をお願い致します。
- ・令和6年度教育課程について、子どもだけではなく多くの家庭に影響が出ると思われる本件は説明会やアンケートも実施せず次年度より実施されるのでしょうか。挙げられている課題については解決しているのか、これは印西市全体での実施なのか、午前中45分5時間にすることでどのような実証結果があるのかなどきちんと説明をいただきたいです。
- ・来年度も同じ帰宅時間を希望。30分早くなると困る。
- ・来年度も短縮の時は給食後の下校、5時間目は午後実施いただきたいです。子どもたちの休み時間や

朝の時間が減り、授業を詰め込みすぎるのは、子どもたちのことを思ってないと思います。検討をよろしくお願いいたします。

- ・来年度の時間割編成についての手紙を見て、大変残念に思うと同時にいには野小学校に対して不信感が芽生えました。児童の気持ちや保護者の意向を聞くこともなく、このようなお話を進めていらっしゃることに強い憤りを感じております。来年度も今までどおりの時間割のままであることを要望します。
- ・来年度の教育課程について。案では12時30分から給食となっていますが、そこから準備を始めると食べ始めるのは13時近くなります。朝食の後、お茶や水のみでその時刻まで過ごすのは大人でも辛いです。朝練に参加する高学年はなおさらです。「午前中に5時間」というのが確定なのであれば、休み時間を5分にするなどして、できる限り給食までの時間を短くしてあげてほしいです。（休み時間を削った分、昼休みや給食を食べる時間を長くするとか…）それから、下校時刻が早まるということですが、共働き家庭が多く、学童も希望者全員が入ることが難しくなるかもしれないという状況で、下校時刻を前倒しすると困る家庭が多いのではないのでしょうか。授業参観について。年に1度くらい、オープンスクールのような形で行ってほしいです。兄弟がいると、1時間の授業を半分ずつしか見られないことが多く、学校での様子がいまいちわかりません。給食後の歯磨きを復活させてほしいです。
- ・来年度の下校時間か早くなる件が、バス送迎時間の兼ね合いなどによる原小学校がらみならば、断じて容認できません。
- ・来年度から休み時間等を短くして早く帰宅させるのはいいが、それを行使する前にやらねばならないことがあるのでは？夏休み明けの登校の負担軽減のため、夏休みを短くしたり、学童に入れない子のために、アフタースクール等を用意したり、そのうえでやるべきなのでは？結局、放課後のトラブルで学校に影響が出ると思われる。
- ・日頃より丁寧なご指導をありがとうございます。先生方のおかげで、毎日元気に通うことができています。来年度の教育課程（時程の変更）についても、先生方のために賛成です。帰りの会が短く、朝の会が長い方が良くと思います。あと、毎日6時間になるようであれば、体力的にしんどいのかなと思います。先生方のおかげで、いには野に通わせてよかったと思っております。皆さんどうぞお身体をお大事になさってください。

●教育課程の変更については、学習効果への見通しや説明が足りなかったばかりか、保護者様の生活にも大きく影響があることに配慮が足りなかったことを反省しております。大変にご心配とご迷惑をおかけいたしました。今後、大きな変更案件等があれば、説明をしっかりと行い、保護者の方々の賛同を得ながら行うことを大切にしていまいります。

（学童）

- ・いには野学童についてですが、対応できることがないか、教育委員会にかけあっていただけのことですが、是非お願いしたいです。特に、夏休みなど、長期休みはもっと困ります。原小学校の方には説明があったようですが、移ってくる方の影響で、入れるはずであった学童に入れないのは、納得できません。急なことで、非常に不安に思います。まわりに、私営の学童もありません。どうか策を立てていただきたいです。よろしくお願い致します。
- ・来年度以降の学童について、他の小学校の児童がくることにより、既存の児童を預けることができなくなるような配慮をしていただきたい。また、そういったことは、勤務時間調整できない保護者も多いため、早めにお知らせしてほしい。変更、検討は、PTA 役員だけでなく、保護者にもお知らせして、アンケートなどとして対応、検討していただきたい。

●**学童施設の所管する保育課とは、放課後の児童受け入れについて改善策を協議していきます。**

(施設・設備・安全)

- ・いつもご指導頂きありがとうございます。駐車場を利用する際のルールを保護者や子供たちに周知して頂きたいです。違うルートを通ったり、駐車場を走って横切るなどとても怖いので、よろしく願い致します。
- ・男の子の個室トイレを増やして欲しい。
- ・体育館にクーラを入れるように市に呼びかけるべき。熱中症の被害がでてからでは遅い。

●**駐車場の約束事は、児童・保護者様へしっかりと伝えることができるよう努めてまいります。**

●**学校のトイレ設置数は、設計時の設定人数により決まっております。**

●**冷房機に関して、特別教室棟への設置から話が進んでいることを報告いたします。体育館は、令和7年度に主に雨漏り補修を中心とした改修工事の予定があります。体育館への冷房機設置は、たびたび話題にはなりますが具体的な話は進んでおりません。本校としては当面の間の対策として、昨年度、明日を育てる会からの寄贈と有価物回収の補助金で購入させていただいた冷風機2台を上手に運用してまいります。**

(PTA活動)

- ・夫婦共働きが増えている現状から、保護者の役員会は廃止されているところが多くなって来ています。現実的に、我が家でも仕事を抱えての役員は協力したい意思があっても難しいです。しかし、共働きは役員を断る理由になりません。毎年どうしたら良いかと悩んでいます。本当に保護者による役員会は必要でしょうか。実際役員をされた方は、やる意味を感じないと口々に耳にします。ぜひ、廃止を検討していただければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

(家庭教育学級)

- ・給食の献立表は配布して欲しい。家庭教育学級を廃止して欲しい。佐倉市の小学校では廃止した学校もあります。子供や学校の為に行うものなら必要性があるかと思いますが、親の為に行う必要性は無いかと思っています。また、この係になる事により、仕事を休むなどの支障が出ます。係になった方には仕事を休んだ分だけの時給を支払うぐらいしないと、割に合わないと思います。時代に合わない集会は廃止すべきだと思います。この家庭教育学級についてやる意味が無いと思っている保護者が大多数だと思いますよ。

●**明日を育てる会、家庭教育学級ともに役員をされる方には、大きなご負担をお願いしています。明日会では、本部役員を中心として、活動内容の精選と役員負担、活動負担の軽減を推し進めています。家庭教育学級も役員数を最低限としたり事務負担を削減したりしています。**

4 学校関係者評価委員会より

★学校関係者評価委員会は、学校に関係する地域の方々にご協力いただき、児童・保護者のアンケート結果をもとに本校の教育活動についてご意見をいただく会で、毎年3学期に開催しております。今回は明日会本部役員（会長・副会長の皆様）にご参加いただきました。以下、いただいたご意見の要約となります。

【学校運営全般】

- ・児童アンケートから、児童が問いに対して自信をもてるか否かで回答が変わると考える。担任と児童の関係が良好なクラスほど肯定的回答が多いのではないだろうか。
- ・先生方は、どんなお子様へも根気よく、その子の将来を考えながらその子と親にサポートしてくれている。本当に心強く感じる。
- ・先生方が日々、子どもたちや保護者のことを考えて教育活動に励んでくださっていると私自身が学校と関わるようになりはじめて感じた。
- ・学校はアンケートもただ実施するだけでなく、保護者の声をきちんと聞き改善しようとしてくれるので信頼できる。
- ・先生方はいつも児童や保護者の為に頭を悩ませながら頑張ってくさっている。
- ・校長先生や教頭先生とは関わる事がなかったが役員を経験してみて、先生方が教員環境をよりよくしていこうという思いを知ることができた。

【教職員の働き方改革】

- ・先生方の、長時間労働の抑制や働き方改革には賛成です。担任の先生の仕事量は多いと思います。（朝練もいらぬのでは・・・）
- ・指導体制を強化するために教職員の増員を希望する。

【学校・保護者・委員会等の関係機関との連携】

- ・保護者が関係するものについては、グーグルフォームなどのWebアンケートを積極的に活用すればよいだろう。
- ・学校と保護者はもちろん、関係する諸機関もしっかりと連携することが必要だろう。

【P A T活動】

- ・PTA活動もスリム化してきている。働いている保護者の方がほとんどなので、前例にとらわれず負担になるものは削除しもっと変えていこうとしている。（運営委員会も必要な月だけ開催またはzoomでも）
- ・PTA活動を全くなくすのではなく、子供たちの安全のための旗振りや、保護者による子供たちの学校生活でのサポートは必要だろう。
- ・先生方も日々大変なのがわかったので以前より一層、先生も保護者も負担にならないPTA活動をしていければ良いだろう。
- ・時代のニーズに合った形に少しずつ変化していけたらと考えます。皆さんそれぞれができる範囲で協力しやすい環境をつくりたい。